

Contents

目次・発行にあたって	1
CSRへの取り組み(基本的な考え方)	2
TOP MESSAGE	3
重点課題「都市ガスと環境」	5
重点課題「都市ガスと安全」	6
広島ガスの概要	7
広島ガスグループの概要	9
トピックス	10

● 経営分野

広島ガスグループの経営体制	11
都市ガス事業	15
広島ガスの都市ガス安定供給への取り組み	16
2009年度事業計画の概要	17
経営効率化目標について	18
業績概要(連結)	19
業績概要(単体)	21
投資情報	22

● 環境分野

クリーンエネルギー天然ガス	23
環境保全活動の基本的な考え方・しくみ	25
環境目標および実績	27
事業活動における環境負荷	29
環境会計	31
お客さま先での環境負荷の低減	33
事業活動における環境負荷の低減	35
地域環境保全への貢献	37
環境活動のあゆみ	39
データ一覧	40

● 社会分野

社会活動の考え方	41
お客さまとの関わり	43
地域社会との関わり	47
次世代教育への取り組み	49
従業員との関わり	51
情報発信・コミュニケーション	53

■本誌の記載項目のうち、関連するページおよび広島ガスホームページにも掲載されている事項を、下記のように表記しておりますのでご参照ください。

P.* 詳しくは*のページをご参照ください。

HP 詳しくは広島ガスホームページをご参照ください。
http://www.hiroshima-gas.co.jp/

1909年の創立以来、炎が創る生活の素晴らしさをお届けしています。

We do! 2009

■ 広島ガスCSR報告書「We do! 2009」

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)を果たしてきました。近年、一つの指標としてCSRの観点から企業を評価する等、企業のCSR活動への注目は高まっています。

広島ガスでは、2000年度から当社の開示情報を環境分野と経営分野の両面から報告することを目的に本誌を発行してきました。2003年度版からは、GRIのガイドライン*を参考に新たに社会的側面も報告対象とし、2005年度版からは、社会分野を他のパートから独立して設け、「経営(経済)」「環境」「社会」の3分野で構成、標題も「CSR報告書」として発行しています。

2009年度版では、重点課題である「都市ガスと環境」(家庭用燃料電池「エネファーム」)と「都市ガスと安全」(お客さま先での安全対策)について記載しています。

■ 参考ガイドライン

・環境省「環境報告ガイドライン〈2007年版〉」

・GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」

※GRI:Global Reporting Initiativeの略。全世界で適用可能な報告書ガイドライン作成に取り組んでいる国際組織

■ 主な対象範囲

広島ガス株式会社の2008年4月から2009年3月までの活動(経営・環境・社会)

※一部広島ガスグループおよび2009年度上期の活動を含む

広島ガス「We do! 2009」によせて



神戸大学大学院 経営学研究科
こくぶ かつひこ
國部 克彦教授

今年度の報告書では、家庭用燃料電池システム「エネファーム」の導入に関する記事が目につきます。本業を通じた低炭素社会の実現への努力は高く評価できるものですので、事業の成功を期待しています。また、昨年度から新たに導入された「事業所におけるCO₂排出量の削減目標」については、目標を大幅に上回る成果をあげられるなど、環境面での取り組みにも進歩が見られます。社会面についても、丁寧かつ詳細に説明されており、社内外の方々の意見も掲載するなど、コミュニケーション面でも工夫されています。

内部統制やコンプライアンス面では、「グループ内の内部統制制度を徹底的に見直す」と表明されていますので、その具体的な取り組みや成果を、今後も継続的に本報告書でも説明されることを希望します。

広島ガスは創立100周年を迎えられ、新しい100年につなげる努力を表明されています。企業の社会的責任を求める声は一層強まると思いますので、本報告書の役割はますます高まることでしょう。そのためにも本報告書を通じて、社内外との関係を強化していってみたいと思います。